

証券コード：6469



株式  
会社 **放電精密** 加工研究所

2023年2月期 第2四半期  
決算説明会資料

---

2022年 10月14日

## ■ 2023年2月期第2四半期決算概要

- 2023年2月期第2四半期決算概要（連結） ……P. 3
- 2023年2月期第2四半期利益の変動要因 ……P. 4
- 事業概要 ……P. 5
- 2023年2月期第2四半期セグメント別概要 ……P. 6～
- 連結貸借対照表とCFの状況 ……P. 10
- 2023年2月期 設備投資・償却費・研究開発費 ……P.11

## ■ 2023年2月期通期連結業績予想 ……P.12～

## ■ 事業の取り組み状況 ……P.21～

- 別紙①：2023年2月期第2四半期 決算補足資料
- 別紙②：企業概要について

# 2023年2月期第2四半期 決算概要 (連結)



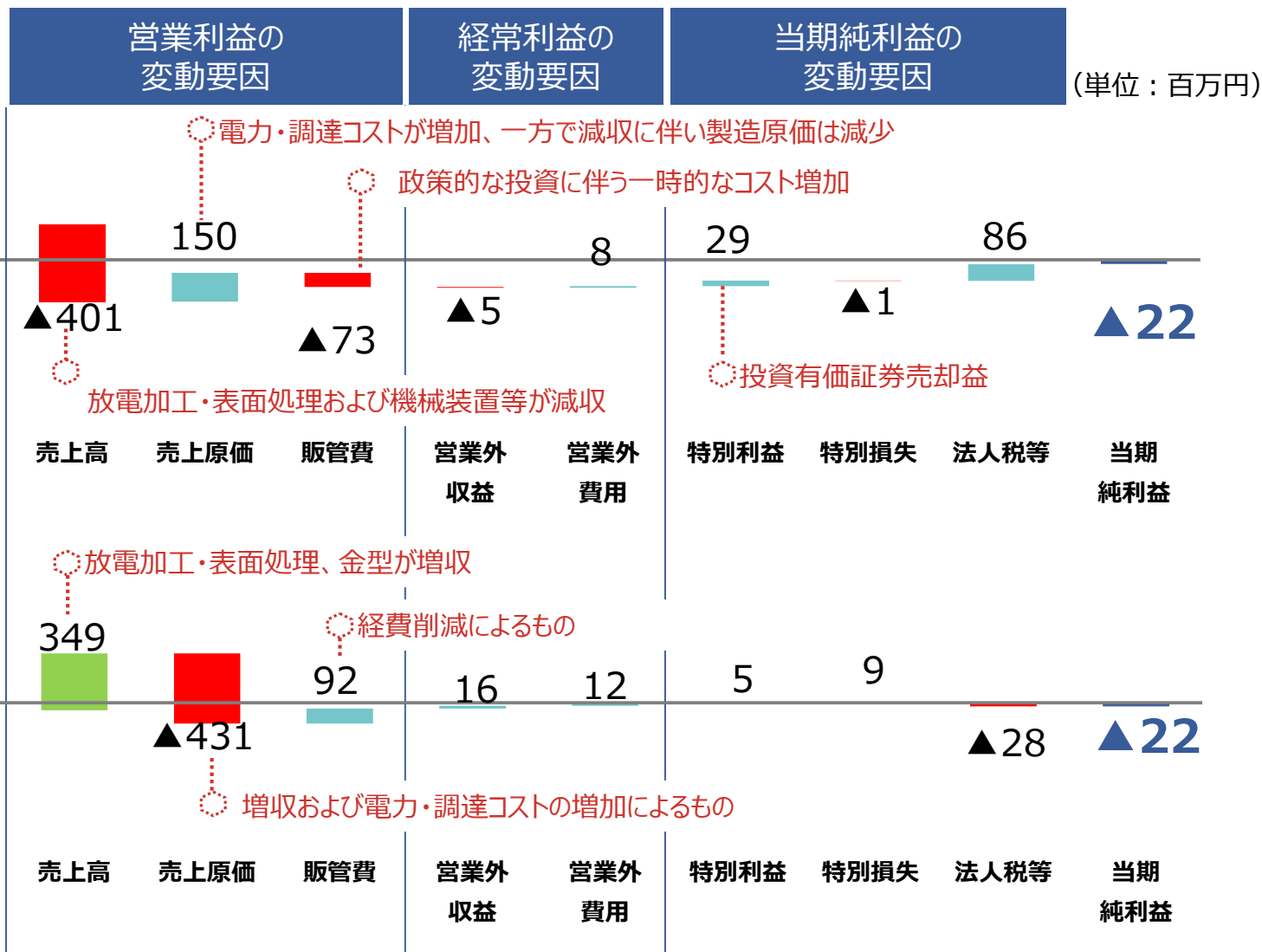
※23年2月期第2Q計画：22年4月5日公表 業績予想

(単位：百万円)

	22年2月期 第2Q実績	23年2月期 第2Q計画	23年2月期 第2Q実績	前期差 増減	計画差 増減
売上高	6,427	5,676	<b>6,025</b>	▲401	+349
売上原価	5,080	4,498	<b>4,930</b>	▲150	+431
売上総利益	1,346	1,177	<b>1,095</b>	▲251	▲82
販管費	1,075	1,240	<b>1,148</b>	+73	▲92
営業利益	271	▲63	<b>▲52</b>	▲324	+10
営業外損益	▲1	▲26	<b>1</b>	+3	+28
経常利益	269	▲90	<b>▲51</b>	▲321	+39
特別損益	20	35	<b>49</b>	+28	+14
税金等調整前 四半期純利益	290	▲55	<b>▲2</b>	▲292	+53
法人税等	107	▲8	<b>20</b>	▲86	+28
親会社株主に帰属する 四半期純利益	183	▲46	<b>▲22</b>	▲205	+24

- ◆売上高6,025百万 前年同期比6.2%減 計画は達成
- ◆営業利益▲52百万 前年同期比324百万減少 計画は達成
- ◆親会社株主に帰属する四半期純利益▲22百万 計画は達成

# 2023年2月期第2四半期利益の変動要因



※計画比：22年4月5日公表 業績予想

※純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

## 放電加工・表面処理

- 航空・宇宙 ~航空機エンジン部品
- 交通・輸送 ~自動車表面処理部品
- 環境・エネルギー ~産業用ガスタービン関連部品



## 金

## 型

- 住宅 ~アルミ押出用金型
- 交通・輸送 ~セラミックスハニカム押出用金型



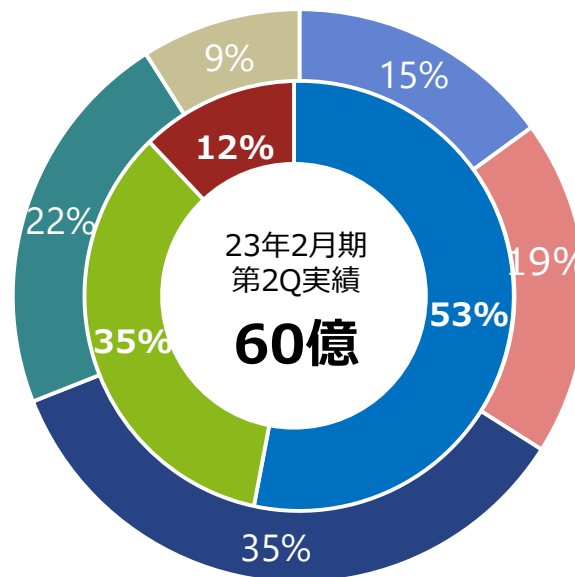
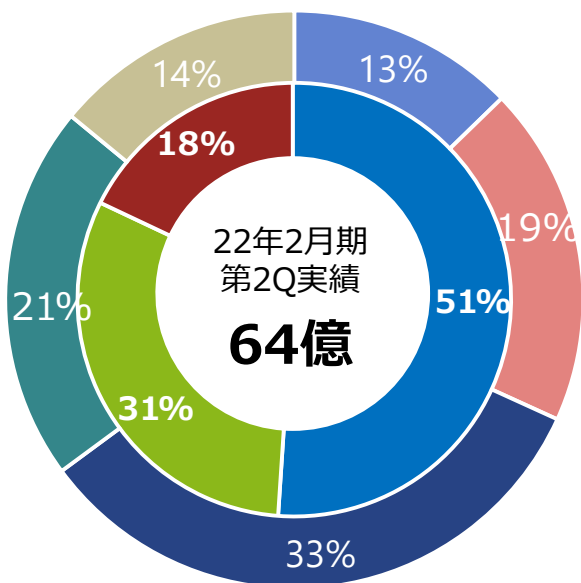
## 機械装置等

- 機械設備 ~プレス機・プレス付帯設備
- 交通・輸送 ~自動車関連プレス部品



セグメント別/事業分野別売上構成比率 (連結)

セグメント別 ■ 放電加工・表面処理 ■ 金型 ■ 機械装置等



事業分野別 ■ 航空・宇宙 ■ 交通・輸送 ■ 環境・エネルギー ■ 住宅 ■ 機械設備

# 2023年2月期第2四半期セグメント別概要



(単位：百万円)

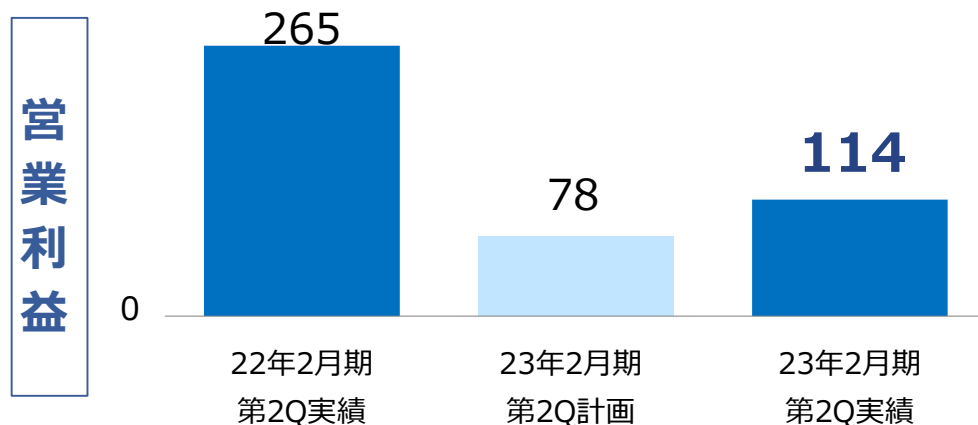
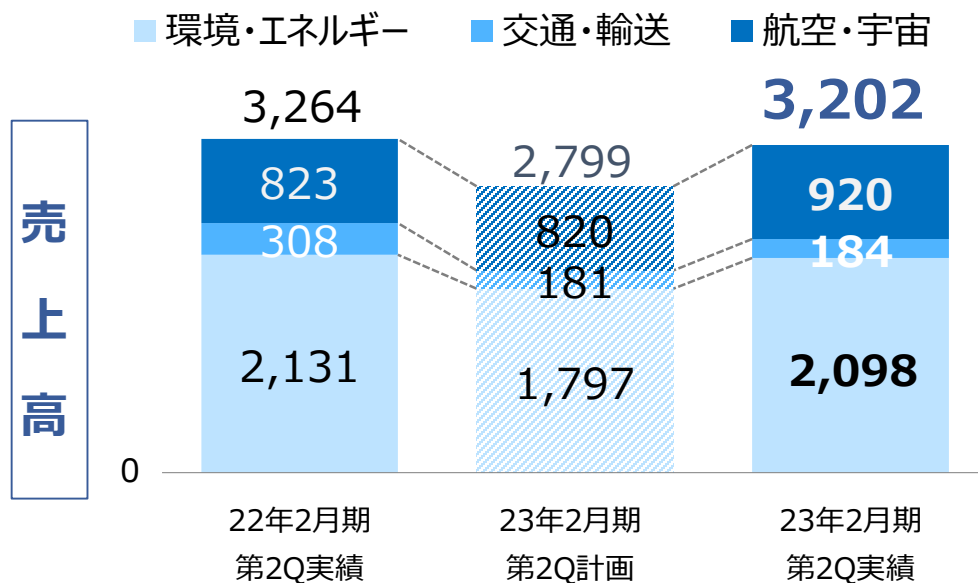
		22年2月期 第2Q実績	23年2月期 第2Q計画	23年2月期 第2Q実績	前期差 増減	計画差 増減
売上高	放電加工・表面処理	3,264	2,799	<b>3,202</b>	▲61	+403
	航空・宇宙	823	820	<b>920</b>	+96	+100
	交通・輸送	308	181	<b>184</b>	▲124	+2
	環境・エネルギー	2,131	1,797	<b>2,098</b>	▲33	+300
営業利益		265	78	<b>114</b>	▲151	+35
売上高	金型	2,000	1,984	<b>2,091</b>	+90	+106
	住宅	1,352	1,259	<b>1,354</b>	+1	+94
	交通・輸送	647	724	<b>736</b>	+89	+12
営業利益		278	359	<b>313</b>	+35	▲45
売上高	機械装置等	1,162	892	<b>731</b>	▲430	▲160
	機械設備	904	670	<b>519</b>	▲385	▲150
	交通・輸送	258	222	<b>212</b>	▲45	▲9
営業利益		177	77	<b>6</b>	▲170	▲71
全社費用		▲449	▲579	<b>▲487</b>	▲37	+91
全社	売上高	6,427	5,676	<b>6,025</b>	▲401	+349
	営業利益	271	▲63	<b>▲52</b>	▲324	+10

※23年2月期第2Q計画：22年4月5日公表 業績予想

# セグメント別詳細：放電加工・表面処理



(単位：百万円)



## 前期比 減収・減益

売上高：3,264 ⇒ **3,202**( ▲61)

営業利益：265 ⇒ **114**(▲151)

## 売上高増減要因（前期比 / 計画比）

### □航空・宇宙( ↑ / ↑ )

◇前期比・計画比ともに、航空機エンジン部品の一部アイテムの需要が回復したこと、航空宇宙関連部品はAPNetサービスの受注増加により増収。

### □交通・輸送( ↓ / - )

◇前期比は、自動車表面処理部品が生産計画の見直しの影響により減収。

◇計画比は、想定通り進捗。

### □環境・エネルギー( ↓ / ↑ )

◇前期比は、ガスタービン部品が受注の谷間になったことで減収。

◇計画比は、ガスタービン部品の受注が想定を上回り増収。

## 営業利益増減要因（前期比 / 計画比）

### □( ↓ / ↑ )

◇前期比は、減収と原材料の高騰等で製造費用が増加したことに加え、ガスタービン部品と航空機エンジン部品の新規アイテムの立ち上げ費用により減益。

◇計画比は、増収と生産体制の見直しなどのコストダウン施策により収益が改善

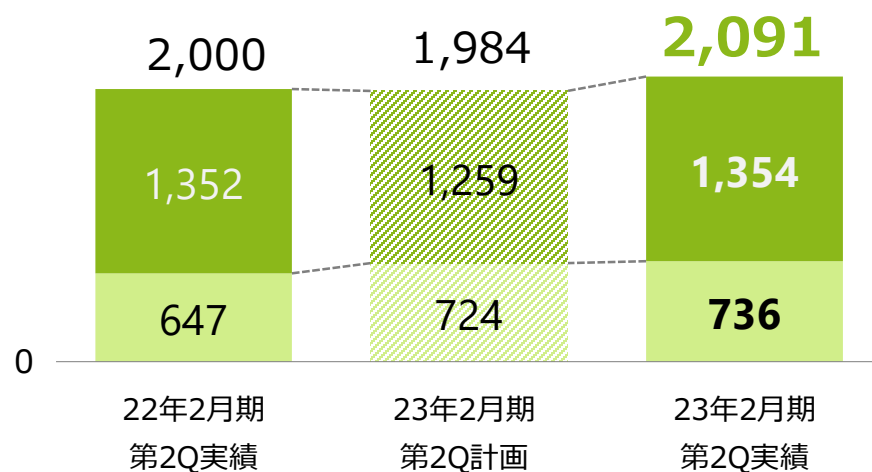
# セグメント別詳細：金型



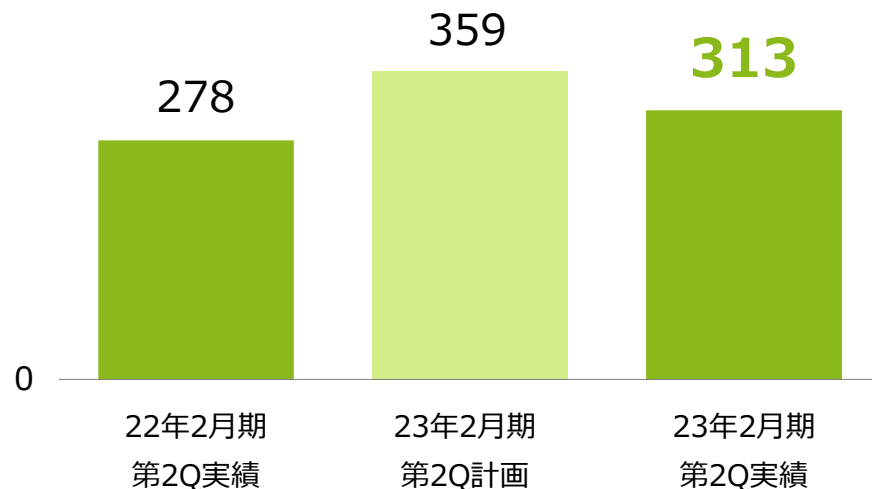
(単位：百万円)

■ 交通・輸送 ■ 住宅

売上高



営業利益



## 前期比 増収・増益

売上高：2,000 ⇒ **2,091** ( +90)

営業利益： 278 ⇒ **313** ( +35)

## 売上高増加要因 ( 前期比 / 計画比 )

### □ 住宅 ( - / ↑ )

- ◇前期比は、前期並みに推移。
- ◇計画比は、受注が想定を上回り増収。

### □ 交通・輸送 ( ↑ / ↑ )

- ◇前期比・計画比ともに金型需要が想定より回復したことで、増収。

## 営業利益増減要因 ( 前期比 / 計画比 )

### □ ( ↑ / ↓ )

- ◇前期比は、増収と生産体制の見直しなどの合理化を推進し増益。
- ◇計画比は、増収も想定以上の原材料の高騰等で製造費用が増加し減益。



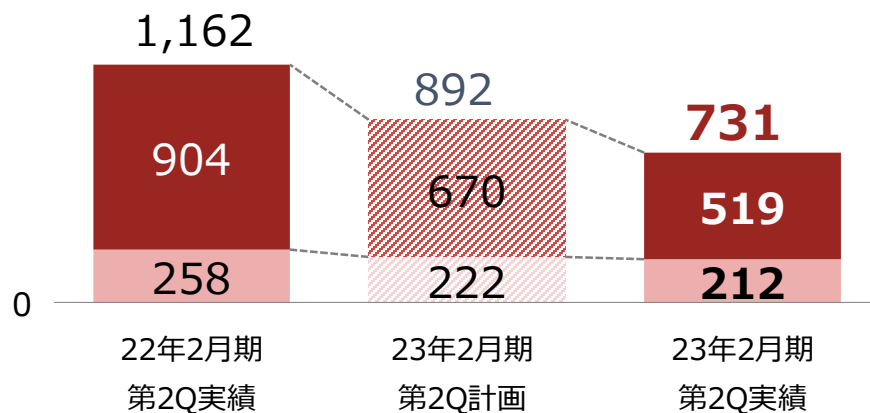
# セグメント別詳細：機械装置等



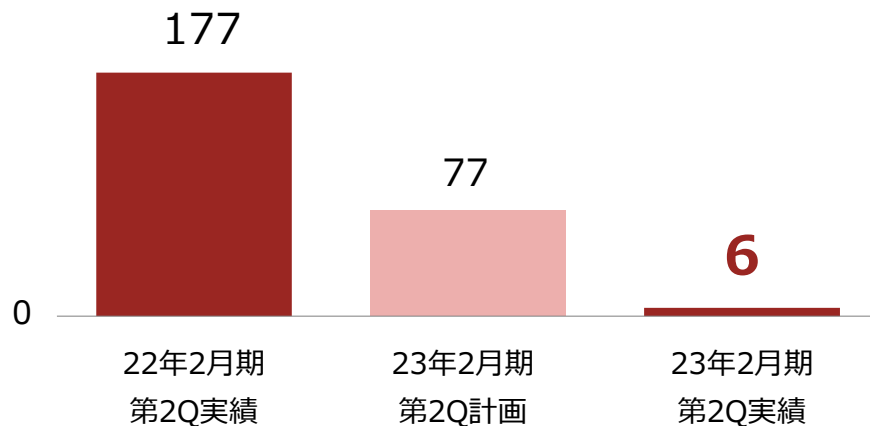
(単位：百万円)

■ 交通・輸送 ■ 機械設備

売上高



営業利益



## 前期比 減収・減益

売上高： 1,162 ⇒ **731** (▲430)

営業利益： 177 ⇒ **6** (▲170)

## 売上高減少要因 (前期比 / 計画比)

### □ 機械設備 ( ↓ / ↓ )

- ◇前期比は、前年同期に機械設備関連の大型デジタルサーボプレス機等の販売があったため、当期では減収。
- ◇計画比は、機械販売の受注未達により減収。

### □ 交通・輸送 ( ↓ / ↓ )

- ◇前期比は、シェアリングサービスが堅調も、自動車関連プレス部品が生産計画の見直しの影響を受け減収。
- ◇計画比は、自動車関連プレス部品が想定を下回り減収。

## 営業利益増減要因 (前期比 / 計画比)

### □ ( ↓ / ↓ )

- ◇前期比・計画比ともに、減収により減益。

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

<b>流動資産</b> <b>5,908</b> 前年比：▲436	<b>流動負債</b> <b>4,874</b> 前年比：+32
<b>固定資産</b> <b>9,188</b> 前年比：▲13	<b>固定負債</b> <b>4,056</b> 前年比：▲392
	<b>純資産</b> <b>6,166</b> 前年比：▲90

資産の部

負債純資産の部

## キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	22年2月期 第2Q実績	23年2月期 第2Q実績
現金及び現金同等物の期末残高	1,566	1,641



## 自己資本比率

2023年2月期第2Q	： 36.0%
2022年2月期	： 36.1%

## 設備投資 / 減価償却費

(単位：百万円)

	22年2月期 第2Q実績	23年2月期 第2Q実績	23年2月期 計画
設備投資	1,153	<b>225</b>	1,400
減価償却費	411	<b>387</b>	800

## 2023年2月期通期 主な投資案件

- 合理化推進を目的とした拠点集約により  
成田事業所の隣地取得  
※土地取得金額約1億
- 定期更新設備のみ実施

## 研究開発費

(単位：百万円)

	22年2月期 第2Q実績	23年2月期 第2Q実績	23年2月期 計画
研究開発費	5	<b>7</b>	43

## 2023年2月期通期 主な投資案件

- DXやICTを活用した  
次世代に向けた生産体制構築
- 混合溶融技術の素材を活用した各種  
成型技術の検証

A large, light blue decorative arc that starts from the left side of the page, curves upwards and then downwards, framing the title text.

# 2023年2月期 通期連結業績予想

## 2022年4月14日開催 決算説明会時点の認識

2022年2月期 期中環境要因	2022年2月期に 発生した事象	2023年2月期 見通し
新型コロナウイルス の影響	■ 原材料不足による 調達難や価格高騰	原材料の調達難 価格高騰は継続
	■ 物流増加による特に 海外でのコンテナ不足	物流増加は継続
半導体需要の 急速な増加	■ 調達難を勘案した 生産計画見直し ■ 設備納入の遅延	デジタル化進展による 需要の加速等で、 調達難は継続
原油の高騰	■ 液化天然ガスや原油 価格の上昇による 調達コスト増	原油をはじめとした エネルギー高騰の 継続
ロシア・ウクライナ情勢	■ 世界経済全体が 成長減速の陰り	経済への影響が 長期化

## 2022年10月4日に公表した外部環境認識（上記に追加した事象）

- 特に自動車業界を中心に国内製造業は厳しい状況が継続
- 材料費・電力費の高騰や調達難の深刻化で取引先との調整が難航

# 2023年2月期 通期連結業績予想



2022年10月4日公表 通期業績予想を下方修正、配当予想は変更なし

(単位：百万円)

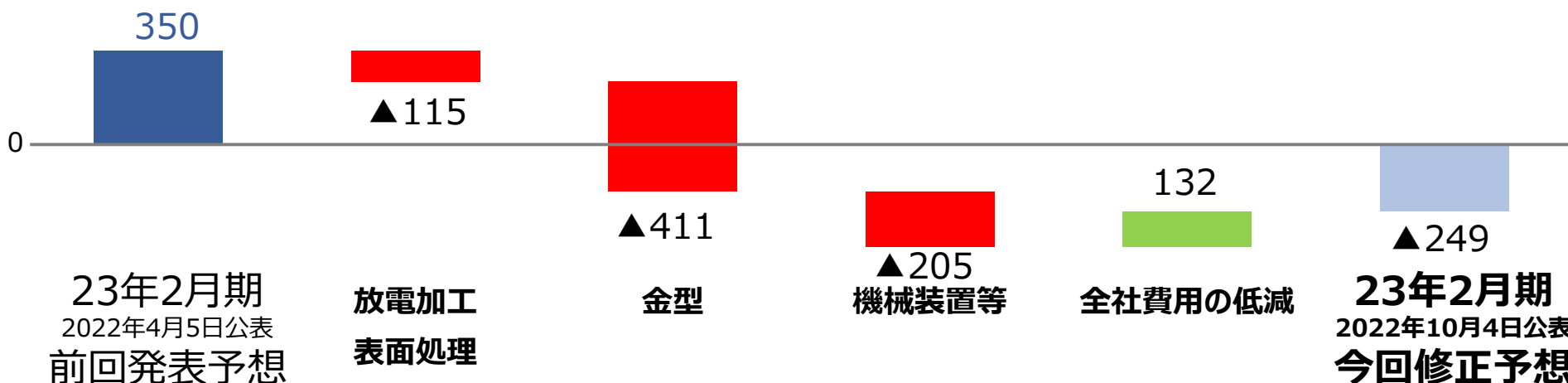
	22年2月期 実績	23年2月期 2022年4月5日公表 前回発表予想	23年2月期 2022年10月4日公表 今回修正予想	前期差	連結業績予想 増減額
売上高	12,976	12,347	12,088	▲888	▲258
営業利益	634	350	▲249	▲883	▲599
経常利益	607	310	▲259	▲866	▲570
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,413	151	▲240	▲1,653	▲391

1株あたり配当金（年間）

20円

## 前回発表予想と今回修正予想の対比

(単位：百万円)



- 自動車業界の生産調整を見込み、全セグメントに關与する交通・輸送関連が減収
- 電力をはじめとした動力費や副資材等が想定以上の高騰により、全セグメントでコストアップの見通し

# 2023年2月期セグメント別業績予想



(単位：百万円)

		22年2月期 通期実績	23年2月期 通期見通し	前期差 増減	23年2月期 上期実績	23年2月期 下期見通し	上下 増減
売上高	放電加工・表面処理	6,820	<b>6,813</b>	▲6	3,202	<b>3,610</b>	+408
	航空・宇宙	1,785	<b>1,898</b>	+112	920	<b>977</b>	+57
	交通・輸送	538	<b>311</b>	▲227	184	<b>127</b>	▲57
	環境・エネルギー	4,495	<b>4,604</b>	+108	2,098	<b>2,506</b>	+408
営業利益		622	<b>417</b>	▲204	114	<b>303</b>	+188
売上高	金型	4,216	<b>3,775</b>	▲441	2,091	<b>1,684</b>	▲406
	住宅	2,744	<b>2,622</b>	▲122	1,354	<b>1,267</b>	▲86
	交通・輸送	1,471	<b>1,153</b>	▲318	736	<b>416</b>	▲320
営業利益		724	<b>360</b>	▲363	313	<b>47</b>	▲266
売上高	機械装置等	1,939	<b>1,499</b>	▲440	731	<b>767</b>	+35
	機械設備	1,430	<b>1,070</b>	▲359	519	<b>551</b>	+32
	交通・輸送	509	<b>428</b>	▲80	212	<b>216</b>	+3
営業利益		200	<b>▲10</b>	▲210	6	<b>▲16</b>	▲22
全社費用		▲913	<b>▲1,017</b>	▲104	▲487	<b>▲530</b>	▲43
全社	売上高	12,976	<b>12,088</b>	▲888	6,025	<b>6,062</b>	+36
	営業利益	634	<b>▲249</b>	▲883	▲52	<b>▲196</b>	▲143

※23年2月期見通し：22年10月4日公表 業績予想



# セグメント別詳細：放電加工・表面処理



□ 2022年2月期 下期実績    ■ 2023年2月期 下期見通し  
■ 2022年2月期 上期実績    ■ 2023年2月期 上期実績  
2022年2月期 通期実績    2023年2月期 通期見通し

(単位：百万円)

## 通期見通し（前期比 減収・減益）

売上高：6,820 ⇒ **6,813** (▲6)

営業利益：622 ⇒ **417** (▲204)

## 売上高下期予想（上期対比）

### ■(↑)航空・宇宙

◇航空機エンジン部品の一部アイテムが、若干の回復傾向であることと、新規アイテムが下期後半から生産開始することから増収。

### ■(↓)交通・輸送

◇自動車表面処理部品が減産による減収。

### ■(↑)環境・エネルギー

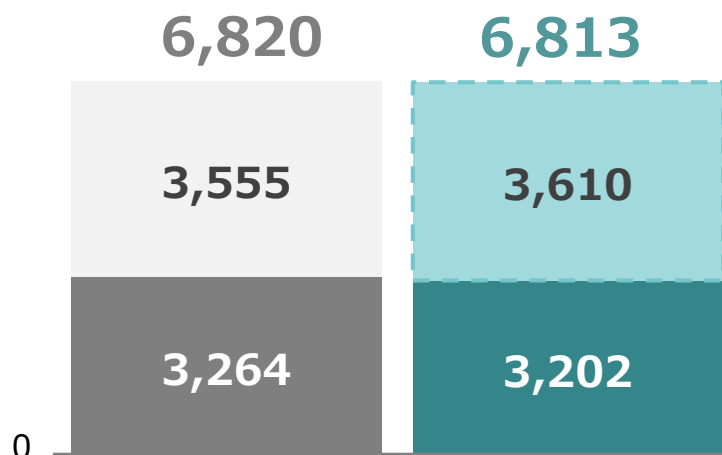
◇ガスタービン部品は受注状況の回復に加え、新規アイテムの生産開始により増収。  
◇遠心圧縮機関連部品の需要が回復傾向。

## 営業利益下期予想（上期対比）

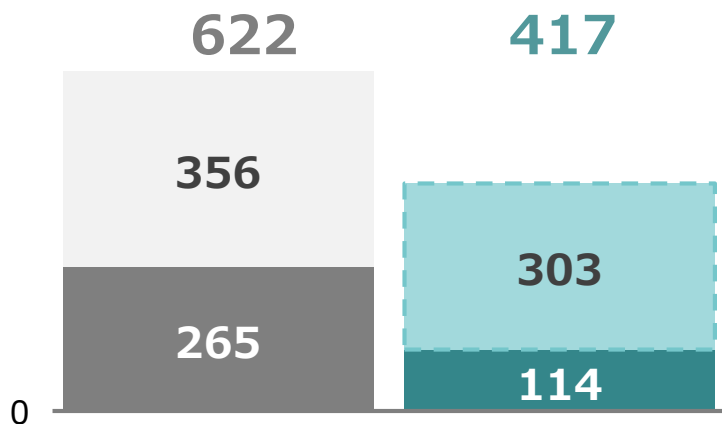
### ■(↑)

◇原材料の高騰や電力料金の値上げの影響があるものの、航空・宇宙および環境・エネルギーの増収により増益。

売上高



営業利益



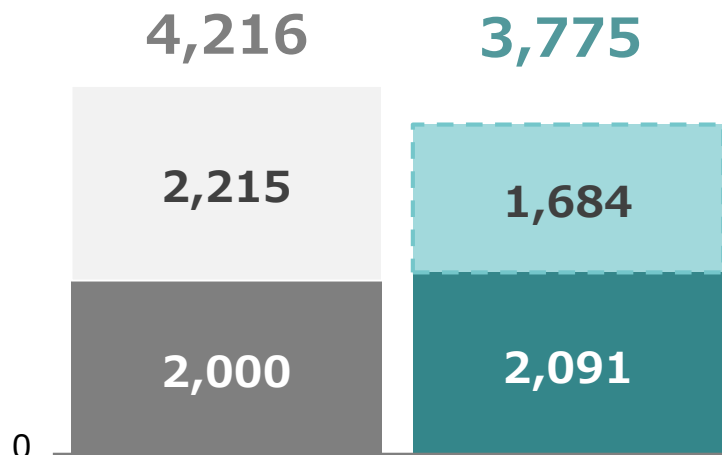
# セグメント別詳細：金型



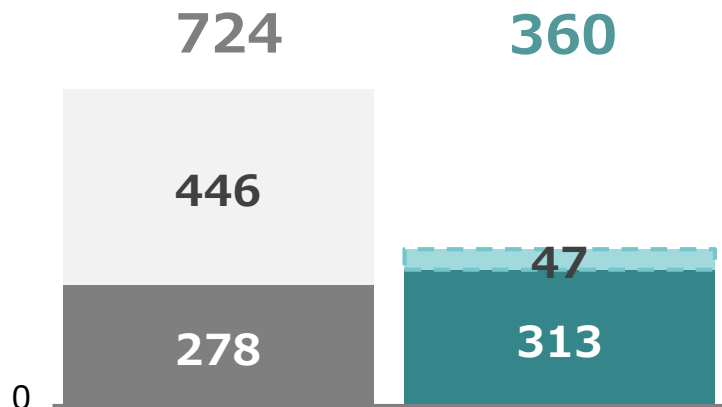
□ 2022年2月期 下期実績    ■ 2023年2月期 下期見通し  
■ 2022年2月期 上期実績    ■ 2023年2月期 上期実績  
2022年2月期 通期実績    2023年2月期 通期見通し

(単位：百万円)

売上高



営業利益



## 通期見通し（前期比 減収・減益）

売上高：4,216 ⇒ 3,775 (▲441)

営業利益：724 ⇒ 360 (▲363)

## 売上高下期予想（上期対比）

### ■(↓)住宅関連

◇アルミ押出用金型は、原材料高騰を懸念した動向から需要が低調に推移し減収。

### ■(↓)交通・輸送

◇セラミックスハニカム押出用金型は、中国の経済不安や自動車業界の生産調整の影響を受け減収。

## 営業利益下期予想（上期対比）

### ■(↓)

◇減収および原材料の高騰や電力料金の値上げの影響により減益。

# セグメント別詳細：機械装置等



□ 2022年2月期 下期実績    ■ 2023年2月期 下期見通し  
■ 2022年2月期 上期実績    ■ 2023年2月期 上期実績  
2022年2月期 通期実績    2023年2月期 通期見通し

(単位：百万円)

## 通期見通し（前期比 減収・減益）

売上高：1,939 ⇒ **1,499** ( ▲440)

営業利益：200 ⇒ **▲10** ( ▲210)

## 売上高下期予想（上期対比）

### ■ (↑) 機械設備

- ◇ 機械設備は直近の受注状況を勘案し、若干の増収。
- ◇ プレス付帯設備は堅調に推移。

### ■ (-) 交通・輸送

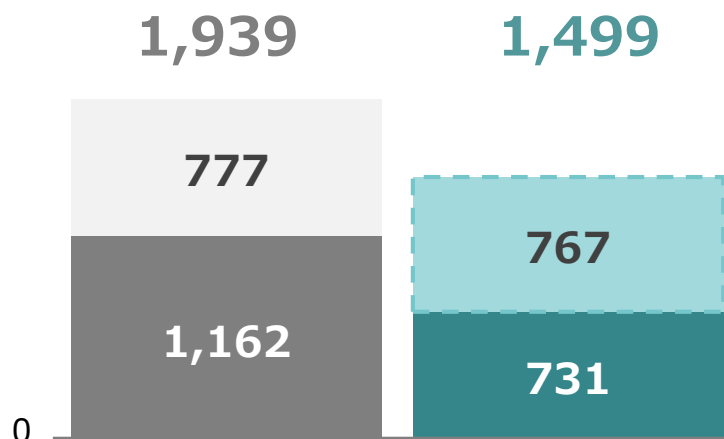
- ◇ 自動車関連プレス部品は、生産調整の影響から減収。
- ◇ シェアリングサービスは堅調に推移。

## 営業利益下期予想（上期対比）

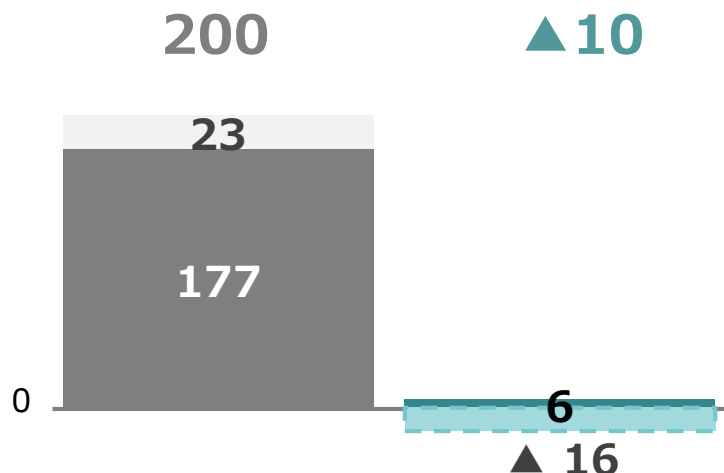
### ■ (↓)

- ◇ 増収も、部品などの調達コストの増加により減益。

売上高



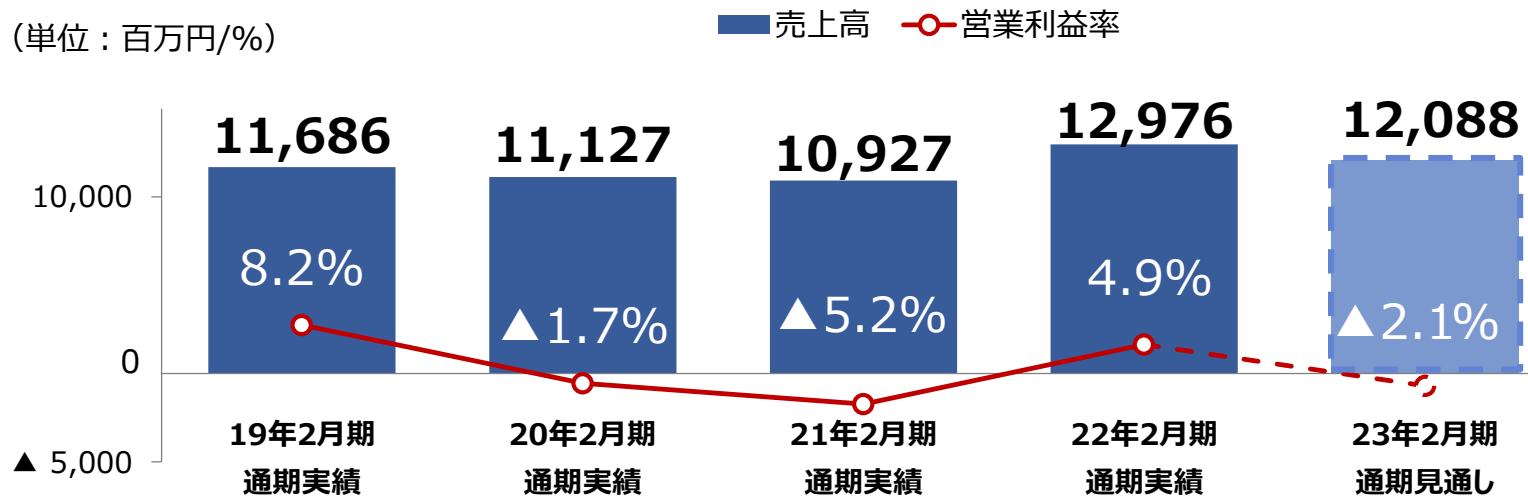
営業利益



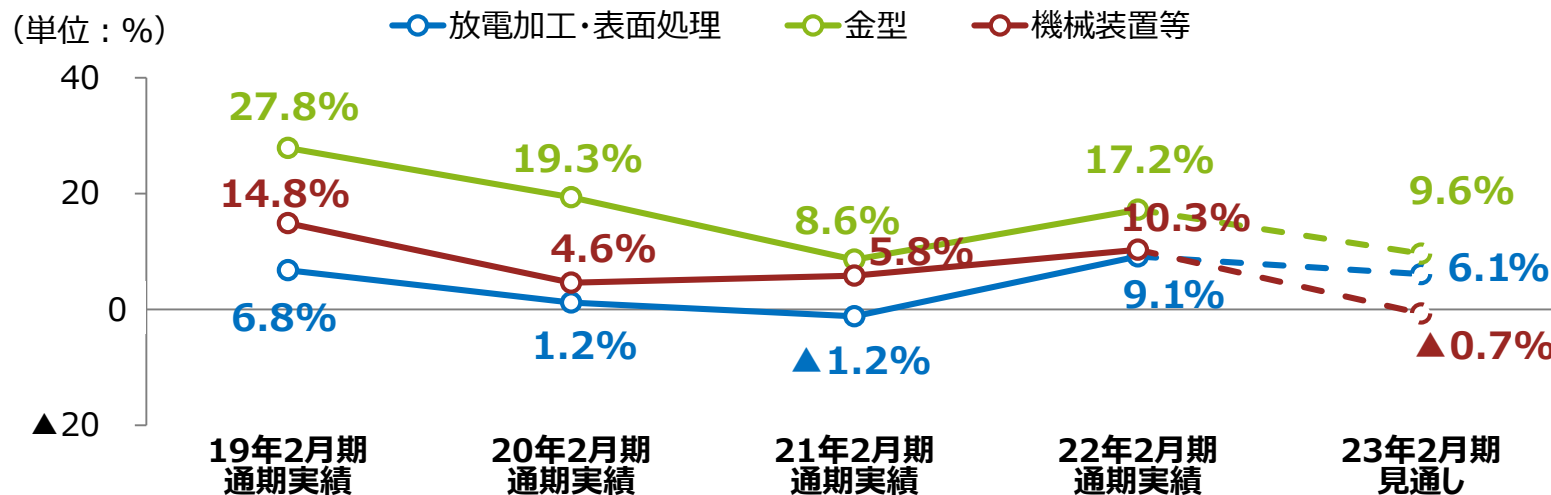
# 売上高・営業利益率推移



売上高と  
営業利益率  
推移



セグメント別  
営業利益率  
推移



※1. 営業利益率は外部売上で算出しています。 ※2. セグメント営業利益率は本社費等控除前のものになります。

A large, light blue, curved graphic element on the left side of the slide, resembling a stylized 'C' or a partial circle.

# 事業の取り組み状況

## リソースを活かした収益改善

### 事業領域

#### 航空機エンジン部品

- 低圧タービンブレード
- 圧縮機燃焼器部品



#### 航空宇宙関連部品

- 航空機器機体部品
- ロケットエンジン部品



### 事業環境認識

#### □ 航空業界の一部にゆるやかな需要回復

- 中小型機は国内線旅客需要により回復傾向
- 国を跨ぐ移動制限により、大型旅客需要は低調
- 国内需要の回復を背景にメンテナンス需要増加

#### □ 地政学リスクから防衛装備品の需要高まり

### 取り組み状況

#### □ 航空機エンジン部品は保有設備の稼働率改善

- 新規アイテムは下期後半より本格生産
- 航空機エンジン部品以外のアイテムを生産

#### □ エンジン部品のメンテナンスサービスを本格稼働

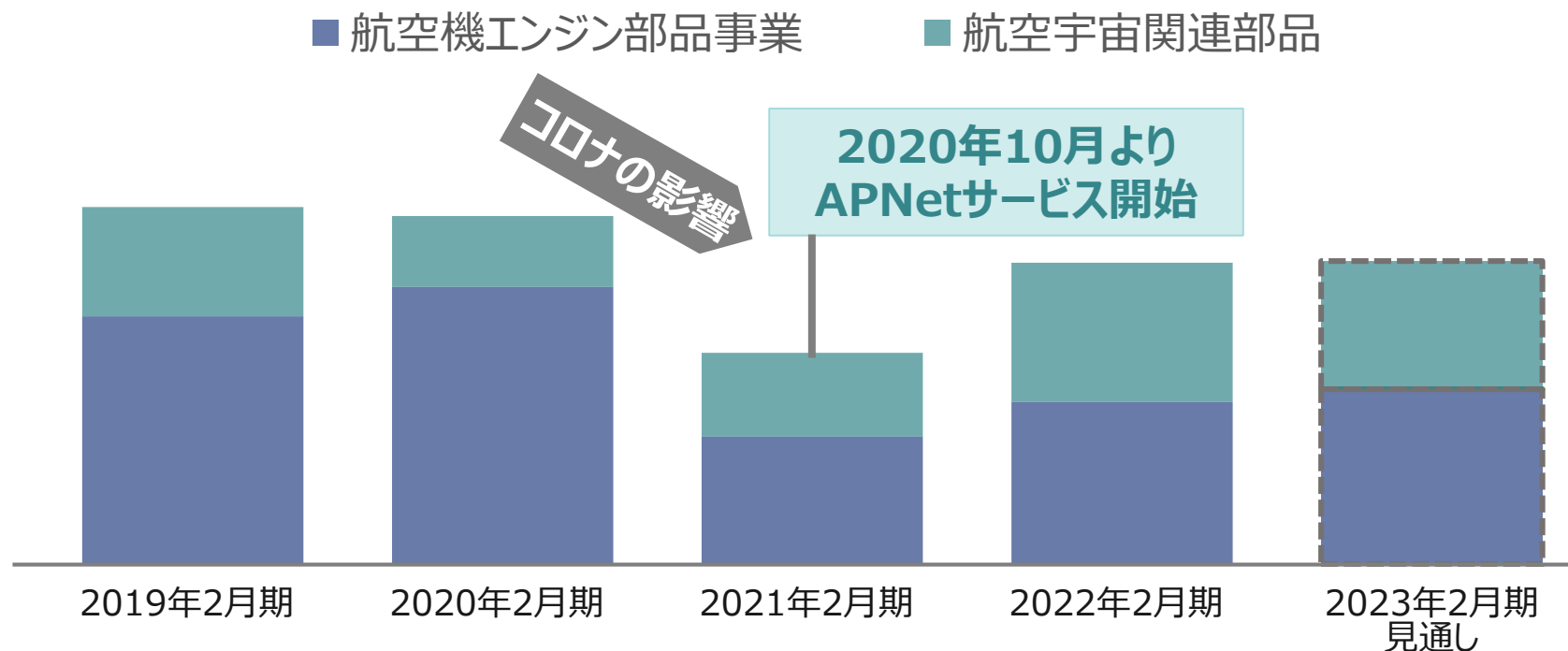
- 部品洗浄を本格稼働

#### □ 航空宇宙部品ネットワークAPNetサービスのアイテム拡大

- 協力企業との連携強化、新規協力先の開拓
- 新規アイテム拡大に向け顧客深耕

## 着実に実績を積み、担当領域拡大へ

### 売上高推移イメージ



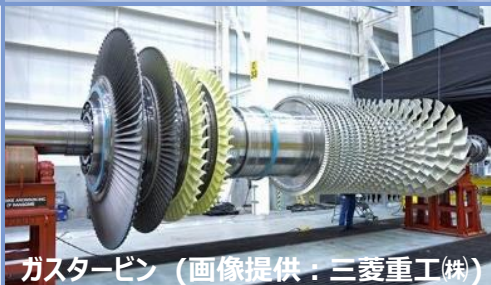
- 航空宇宙関連部品は、APNetサービスのビジネス拡大を目指す
- 航空機エンジン部品事業は、洗浄工程を導入しアイテム拡大を目指す

## 既存事業の効率化追求と需要増加対応を推進

### 事業領域

#### 天然ガス発電

・ガスタービン部品



#### 石油プラント

・遠心圧縮機関連部品



### 事業環境認識

#### □脱炭素化の開発は加速

- 天然ガスによる発電の需要は暫く継続
- 水素・アンモニア発電の開発、それに伴い水素生産の開発が加速

### 取り組み状況

#### □ガスタービン部品の生産安定化

- 計画的な生産が可能となる受注方式へ切り替え

#### □遠心圧縮機関連部品のコスト削減

- 遠心圧縮機関連部品は合理化にむけて2拠点生産を成田事業所へ集約
- 11月から新体制で生産開始



## 安定生産フェーズから新規アイテム拡大へ

	直近3カ年	現在	中期
<p>ガスタービン部品 海外アイテム</p> 	単一部品加工の獲得	大型アイテム一貫生産開始	安定供給でアイテム拡大を目指す
<p>遠心圧縮機関連 部品新規アイテム</p> 	工法開発需要および生産量の増加	拠点集約し、新体制による生産開始	安定供給でアイテム拡大を目指す

## 基盤事業の収益確保

### 事業領域

#### 自動車およびトラック

- 排気ガス浄化装置
- アイドリングストップ機構エンジン



### 事業環境認識

#### 業界の生産計画見直し

- 半導体や原材料不足などによる減産

#### カーボンニュートラル加速

- 中国・インドの排ガス規制強化
- 欧州を中心としたEV需要の増加・シフト

### 取り組み状況

#### セラミックスハニカム押出用金型の大型対応強化

- 受注の安定化、顧客深耕
- 材料や消耗工具のコスト管理を一層強化

#### プレス部品加工の生産性向上

- 量産部品の品質向上、省人化

#### 表面処理部品の生産体制最適化

- 生産量に対応した生産体制を維持・継続

## 選別受注および生産体制の最適化

### 事業領域

#### 窓・サッシ

- アルミサッシ
- アルミ樹脂複合サッシ



#### エクステリア

- フェンス、カーポート
- 門扉



### 事業環境認識

#### 住宅の新築・ビル改修需要は鈍化

- 少子化により住宅着工件数は減少
- オフィスビルは計画の先送りにより回復遅れ

#### 住宅窓の高機能化・省エネ化

- ZEBやZEH対応を想定した製品需要

### 取り組み状況

#### アルミ押出用金型の徹底した合理化推進

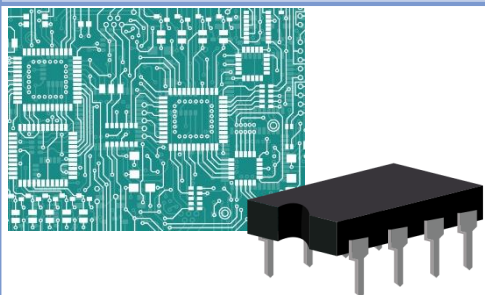
- 選別受注と顧客深耕の強化
- 製造コストの最適化、品質・供給の安定化
- データを活用し業務プロセスの合理化

## 新技術・新素材開発市場向けの販売戦略強化

### 事業領域

#### 電子機器

- 電子材料
- 電子部品



#### 電池

- 燃料電池部品
- 全固体電池部品



### 事業環境認識

#### 製造業における脱炭素化が加速

- 生産時の二酸化炭素削減に向けた取り組み
- グリーンエネルギーへの切り替え

#### 次世代自動車普及に向けた取り組みが加速

- E V車などの部品開発需要が増加

### 取り組み状況

#### 高精度成形需要が高まる市場に向けてデジタル

#### サーボプレス機の販売強化

- 電子機器および電池市場への拡販
- 省エネ対応プレス機へ切替促進

#### 開発向けサービスの強化

- シェアリングサービスの量産試作強化

## WEBチャネルを活用した顧客サービスの拡充

### 工法開発事例コンテンツ開設

当社プレス機による工法開発を公開  
新たな顧客ニーズ獲得を目指す

### ソリューションサービスの推進

総合プレス事業で培った技術情報で  
お客様のものづくりをトータルサポート



デジタルサーボプレス機  
**ZENFormer**

完全なデジタル情報による動作により、圧倒的な高精度化を実現したデジタルサーボプレス機 ZENFormer。さらに通信技術・センサー技術と融合し、知能化したサーボプレス機へと進化し続けております。

ZENFormerシリーズ >

「用途」「加工方法」「材料」から事例を見る

ZENFormerを導入することで様々な課題を解決できます。まずは導入事例をご覧ください。

用途  加工方法  材料

フリーワード検索

#### 燃料電池用金属セパレータの成形事例

平行制御+下死点繰返し精度+複動機構+高精度位置決めモーション  
⇒⇒⇒プレス加工による高精度成形実現  
参考事例) 燃料電池用金属セパレータの超高精度順送加工



HUK 導入事例 金属セパレータ

後で見る 共有

独創的な工法開発

燃料電池用金属セパレータ

ZENFormer ダブルスライド

見る YouTube

## 混合熔融技術開発の取り組み

### 外部環境認識

#### □ 資源循環型社会実現に向けた取り組みが加速

- 3R、サーキュラー・エコノミーへの急速なシフト
- プラスチック資源循環促進法施行

### 開発テーマ

#### □ 素材開発

- プラスチック資源循環に向け各材料開発
  - ① 難処理プラスチックのリサイクル
  - ② バイオマス高充填の複合材料
  - ③ 生分解性プラ・セルロースファイバー等

#### □ 設備開発

- 機能強化を図った新型混合熔融機の開発

#### □ 製品試作

- 中核事業の押出成形技術を含む  
様々な製品試作・評価の実施

### 取り組み状況

#### ■ 混合熔融機の販売で業績寄与へ

- 混合熔融機は、部品調達難により来期販売へ

#### ■ 材料・製品試作の開発促進

- 材料・製品試作は、難処理プラスチック  
リサイクル材料を中心に開発促進



混合熔融機

## 地域・業界を越えた普及活動への積極的な取り組み

1

高度マテリアル  
リサイクル研究会の設立

2

「デジタル駆動超資源循環参  
加型社会共創拠点」への参画

「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」  
育成型（地域共創分野）プロジェクト

3

各種パートナーシップ協定  
の推進

4

SDGs イベント  
学校教育への参画

みんなの「知らない」をカタチにする

**HJK** 株式会社 **放電精密** 加工研究所

本資料に記載された目標や予測等、将来に関する記載が記述があります。  
資料作成時点での当社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。  
また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。